

平成26年度事業計画書

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

1 事業実施の方針

まずは、一昨年から開発検討している以下の二つの商品について充実させ、当協会ホームページで提示し、紹介・斡旋を開始する。

- ① 地域の宿泊施設が修学旅行、教育旅行団体を誘致獲得しやすくするためのツールとして、地域別教育旅行モデルプランを開発提示する。
- ② 「みどりと癒しのプロ、森林セラピストと行く」ツアー商品を、それぞれのコースの旬に合わせて年間を通してラインナップする。

また、今年度より新たにスタートした【シリーズ】「戦国真田の吾妻侵攻と、吾妻の山・里・花を訪ねるエコツアー」を充実拡大するために、吾妻斉藤氏と真田氏の関連城址・遺構の視察調査を重ね、来年以降、4月～5月のメインイベントにする。最終的には信州上田市～上州沼田市までの関連城址・遺構を訪ね歩けるシリーズエコツアーとして完結させ、その商品をHPにラインナップ、通年の販売を開始する。

また、吾妻西部の鉾山跡廃墟ツアー、吾妻東部の山里エコツアー、吾妻各地の修験道に縁のある場所へのエコツアー等もシリーズになり得る素材であり、積極的に検討開発を進める。

上記のように当協会が個人客と団体客の双方において、より差別化させた特有のプログラムを拡充していくことは、現地体験プランの選択肢を増やし、個々のニーズを満足させることになる。これは、当地域の宿泊施設様にとっても同様の理由で宿泊ゲストを満足させることになり、また、単泊から連泊へと長期滞在を促す材料となりうる。ただし、当協会は宿泊施設の要望の為によりも、お客様自身が主体性を持って自ら現地での体験を求め、当協会に申し込み、その結果として周囲の宿泊施設に宿泊する状況になることを目指す。実際、冬期のスノーシューツアーのお客様はほぼそういう形態である。そのようなお客様を、誠心誠意を持っておもてなしするのが当協会のポリシーである。

「当協会だけが元気になる」のではなくて、「当地域が元気になる」ためのエコツアー及び体験プログラムを開発・企画造成＝商品化するためには、さらなる地域の達人、スペシャリスト、実力者、精通者等の参画が望まれる。今後も真摯丁寧に会務を遂行し、地域の信用を得て新規会員及び協力者を得る。また当然のことながら既存の会員からも随時、エコツアー/体験プログラム商品を募集受付、相談に応じる。

日本人の故里の“ものこと”、そして風景がぎっしりと詰まった旧六合村（中之条町入山地区）での自然体験、田舎体験、やまでの暮らしや伝統文化体験を掘り起し、その持続可能なライフスタイル（六合スタイル）を地域ブランド化し、世界に発信していく事業を『六合ムラ Eco-Village Project』と名づけている。少々大げさなタイトルのプロジェクト名であるが、具体的には花楽の里“うらやま”で実施している「親子で参加できる自然体験アクションプログラム」や、ねどふみの里等で実施している「ものづくり学習塾」をコツコツと企画運営実施していく。

「ものづくり伝道師 浅間・吾妻塾」は、地域の風土が育んできた伝統工芸品・民芸品等を学ぶことで失われつつある先人の知恵と技術を継承すると共に文章、映像も記録し後世に残そうとする事業である。昨年度は「ねどふみ」について取材し学習したが、今年度は新たに「シナノキの樹皮を使って紐や縄を作る」技術を集中的に取材し学習する予定。すでに「『群馬の文化』支援事業補助金」には応募しているが、継続採択とならなかった場合は、別の補助金、助成金を探して応募申請する。

浅間山麓・吾妻地域にてエコツアーガイド（或いはインタープリター）として活動できる人材を、3日間の集中講義で養成するエコツアーガイド養成講座（NEAL指導者認定）を今年度も実施する。ただし、近年のCONEは文部科学省に傾倒しており、新たなNEAL指導者の仕組みは学校教育者としての立場の呈色が強く、学力よりも人格・品格や生きるために必要な智慧と力、或いは安堵感や悟りなどの総合力を、「自ずから然り」により醸成させていただく、というナチュラルリストとしての自然体験指導者/自然案内人とは路線が変わってきている実態にある。現状では全国的なスタンダード資格であるCONE/NEAL資格の枠組みに同調して自然体験活動指導者を養成していくが、その枠組みが将来的に当協会及び会員のためにベストの選択であるのかどうかを見極めつつ、他団体の資格制度の導入や完全独立の資格制度樹立も念頭に入れ、指導者資格制度を整えていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数
ホームページ運営事業	① 関係機関ホームページへの情報登録、更新 ② ホームページ作成事業 ③ 個人、一般団体、学校の教育旅行のお客様に対してのエコツアー/体験イベント/セミナー・講習会/その他サービス事業の販売宣伝事業	2013年4月1日～2014年3月31日	当協会事務所	1人	当地域のエコツアーリズム及びヘルスツアーリズムを推進実施する個人または団体と、その団体への参加者 3000名
自然体験活動指導者養成事業	浅間山麓・吾妻地域においてエコツアーリズム及びヘルスツアーリズムを企画・実施できる人材を養成する。	2014年1月予定	嬭恋村商工会館	5人	浅間山麓・吾妻地域への訪問者に対し、エコツアーリズム及びヘルスツアーリズムを企画・実施することに対し興味がある18歳以上の健康な男女 30名
ものづくり伝道師 浅間・吾妻塾（「群馬の文化」支援事業助成金）	当地の伝統技術や当地ならではのアイデアや人材から生まれた「ものづくり達人」を講師に迎え、その技術を体験指導できるようになるための「ものづくり塾」を開催する。	2014年6月1日～2015年3月31日	中之条町入山地区（旧六合村）の山中、ねどふみの里等	5人	地域住民及び浅間・吾妻地域で体験指導者になりたい人計60名
あがつま都市山村交流プログラムへの協力	当協会の姉妹団体である「あがつまエコツアーリズム協会」による、中之条町入山地区にある、「花楽の里」の“うらやま”エリアの森を「都市と農山村の交流の森」にするための事業の、森林整備作業及び広告宣伝に協力する。	2014年6月1日～2015年3月31日	中之条町入山地区にある「花楽の里」“うらやま”の森	10人	親子自然体験プログラム参加者 合計100名

(2) その他の事業

実施する予定無し。

平成26年度特定非営利活動に係る事業会計活動予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	0	0	
正会員会費収入	0	0	
賛助会員会費収入	0	0	
2 事業収入			
ホームページ運営事業収入	4,000,000		
自然体験活動指導者養成事業収入	300,000	4,300,000	
3 寄附金収入	0	0	
4 補助金等収入	200,000	200,000	
5 雑収入			
預金利子	0	0	
6 その他の事業会計からの繰入金収入	0	0	
当期収入合計 (A)			4,500,000
II 支出の部			
1 事業費			
ホームページ運営事業費	3,500,000		
自然体験活動指導者養成事業費	300,000		
ものづくり伝道師 浅間・吾妻塾	200,000	4,000,000	
2 管理費			
役員報酬	20,000		
給与手当 (事務局職員)	0		
車両費	200,000		
光熱水費	0		
通信費	40,000		
印刷製本費	10,000		
消耗品費	20,000		
旅費交通費	10,000		
借料及び損料	0		
交際接待費	10,000		
荷造運賃	10,000		
研修費	10,000		
租税公課	100,000		
諸会費	60,000		
その他	10,000	500,000	
3 予備費	0	0	
当期支出合計 (B)			4,500,000
当期収支差額 (A) - (B)			0
前期繰越収支差額 (C)			932
次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C)			932

平成26年度その他の事業会計活動予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 事業収入			
エコツーリズム及びヘルスツーリズムに 関する書籍の卸・販売事業	0		
エコツーリズム及びヘルスツーリズムに 関する教材、物品の卸・販売事業	0	0	
当期収入合計 (A)			0
II 支出の部			
1 事業費			
エコツーリズム及びヘルスツーリズムに 関する書籍の卸・販売事業	0		
エコツーリズム及びヘルスツーリズムに 関する教材、物品の卸・販売事業	0	0	
2 管理費	0	0	
3 特定非営利活動に係る事業会計への繰出	0	0	
当期支出合計 (B)			0
当期収支差額 (A) - (B)			0
前期繰越収支差額 (C)			0
次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C)			0